

岩手海区漁業調整委員会委員候補者の再募集による推薦及び自薦応募状況（終了時公表）

推薦を受けた者の数 1人

自薦応募した者の数 0人

1 漁業者・漁業従事者委員候補者

(1) 個人推薦

受付番号	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦をした者（個人の場合）※代表者以外は別紙				推薦の理由			
	氏名	フリガナ	年齢	性別	漁業の根拠地	職業	経歴（法人・団体の役職歴）		漁業経営状況		代表者の氏名		年齢	性別	職業
							就業状況	法人・団体の役職歴	主な漁業種類	漁業者または漁業従事者の別					

(2) 団体推薦

受付番号	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦した者（団体の場合）				推薦の理由					
	氏名	フリガナ	年齢	性別	漁業の根拠地	職業	経歴（法人・団体の役職歴）		漁業経営状況		団体等名称		代表者の職氏名	団体の性格			
							就業状況	法人・団体の役職歴	漁業種類	漁業者または漁業従事者の別				設立目的	構成員の人数		
1-1	菊地 敏克	キクチ トシカツ	79	男	山田町	漁業	S39.4～H17.4 H17.5～	織笠漁業協同組合勤務 採介藻漁業従事	H21.12～H22.5 H22.6～H23.6 H23.7～R5.2 R5.3～ R5.6～ R5.6～ R5.6～ H22.6～H24.2 H24.3～R5.6 R5.7～	三陸やまだ漁協総代 三陸やまだ漁協理事 三陸やまだ漁協副組合長理事 三陸やまだ漁協代表理事組合長 岩手県漁業共済組合監事 岩手県さけます増殖協会監事 岩手県沿岸漁船漁業組合理事 山田漁業協同組合連合会監事 山田漁業協同組合連合会理事 山田漁業協同組合連合会副会長理事	採介藻	漁業者	三陸やまだ漁協	代表理事組合長 菊地 敏克	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員354人 準組合員167人	被推薦者は、旧織笠漁業協同組合職員として41年間勤務後、平成17年5月から19年間、漁業に従事していることから現場に精通している。平成21年から三陸やまだ漁業協同組合総代、監事、理事、副組合長を経て令和5年3月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、山田漁業協同組合連合会においては、平成22年6月から監事、理事を経て現在副会長に就任している。合併漁協である三陸やまだ漁業協同組合では、当該漁協の前身である旧織笠漁業協同組合の参事として、理事の職務を補完すべく組合経営に全力を投じた経験を活かしながら、現在の組合長職務を遂行していることもあり、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。以上のことから、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
1-2	菊地 敏克	キクチ トシカツ	79	男	山田町	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	船越湾漁協	代表理事組合長 湊 謙 (代表理事組合長職務代理者 臼井孝弘)	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員276人 準組合員34人	被推薦者は、旧織笠漁業協同組合職員として41年間勤務後、平成17年5月から19年間、漁業に従事していることから現場に精通している。平成21年から三陸やまだ漁業協同組合総代、監事、理事、副組合長を経て令和5年3月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、山田漁業協同組合連合会においては、平成22年6月から監事、理事を経て現在副会長に就任している。合併漁協である三陸やまだ漁業協同組合では、当該漁協の前身である旧織笠漁業協同組合の参事として、理事の職務を補完すべく組合経営に全力を投じた経験を活かしながら、現在の組合長職務を遂行していることもあり、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。以上のことから、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。	

1-3	菊地 敏克	キクチ トシカツ	79	男	山田町	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	重茂漁協	代表理事組合長 山崎 義広	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員431人 準組合員37人	被推薦者は、旧織笠漁業協同組合職員として41年間勤務後、平成17年5月から19年間、漁業に従事していることから現場に精通している。平成21年から三陸やまだ漁業協同組合総代、監事、理事、副組合長を経て令和5年3月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、山田漁業協同組合連合会においては、平成22年6月から監事、理事を経て現在副会長に就任している。合併漁協である三陸やまだ漁業協同組合では、当該漁協の前身である旧織笠漁業協同組合の参事として、理事の職務を補完すべく組合経営に全力を投じた経験を活かしながら、現在の組合長職務を遂行していることもあり、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。以上のことから、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
1-4	菊地 敏克	キクチ トシカツ	79	男	山田町	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	宮古漁協	代表理事組合長 山根 秀幸	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員418人 準組合員451人	被推薦者は、旧織笠漁業協同組合職員として41年間勤務後、平成17年5月から19年間、漁業に従事していることから現場に精通している。平成21年から三陸やまだ漁業協同組合総代、監事、理事、副組合長を経て令和5年3月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、山田漁業協同組合連合会においては、平成22年6月から監事、理事を経て現在副会長に就任している。合併漁協である三陸やまだ漁業協同組合では、当該漁協の前身である旧織笠漁業協同組合の参事として、理事の職務を補完すべく組合経営に全力を投じた経験を活かしながら、現在の組合長職務を遂行していることもあり、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。以上のことから、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
1-5	菊地 敏克	キクチ トシカツ	79	男	山田町	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	田老町漁協	代表理事組合長 嶋山 康男	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員296人 準組合員135人	被推薦者は、旧織笠漁業協同組合職員として41年間勤務後、平成17年5月から19年間、漁業に従事していることから現場に精通している。平成21年から三陸やまだ漁業協同組合総代、監事、理事、副組合長を経て令和5年3月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、山田漁業協同組合連合会においては、平成22年6月から監事、理事を経て現在副会長に就任している。合併漁協である三陸やまだ漁業協同組合では、当該漁協の前身である旧織笠漁業協同組合の参事として、理事の職務を補完すべく組合経営に全力を投じた経験を活かしながら、現在の組合長職務を遂行していることもあり、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。以上のことから、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
1-6	菊地 敏克	キクチ トシカツ	79	男	山田町	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	小本浜漁協	代表理事組合長 三田地 和彦	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員136人 準組合員30人	被推薦者は、旧織笠漁業協同組合職員として41年間勤務後、平成17年5月から19年間、漁業に従事していることから現場に精通している。平成21年から三陸やまだ漁業協同組合総代、監事、理事、副組合長を経て令和5年3月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、山田漁業協同組合連合会においては、平成22年6月から監事、理事を経て現在副会長に就任している。合併漁協である三陸やまだ漁業協同組合では、当該漁協の前身である旧織笠漁業協同組合の参事として、理事の職務を補完すべく組合経営に全力を投じた経験を活かしながら、現在の組合長職務を遂行していることもあり、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。以上のことから、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。

